

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
FMD News Vol.17 をお届けいたします。

facebook



## 3月のTOPICS

- ☆ 内皮機能不全および平滑筋異常の両方が、駆出率が保たれた心不全(HFpEF)の病因および維持に寄与し、潜在的な治療標的であり得る
- ☆ 3月学会展示のご案内

### ■ 内皮機能不全および平滑筋異常の両方が、駆出率が保たれた心不全 (HFpEF) の病因および維持に寄与し、潜在的な治療標的であり得る

#### <対象と方法>

対象: HFpEFを有する患者41人(男性:23人、女性:18人、年齢 $66 \pm 12$ 歳)

HFなしの患者165人(男性:95人、女性70人、平均年齢 $54 \pm 16$ 歳)

方法: FMD、NMD(nitroglycerine-induced vasodilation: ニトログリセリン誘導性血管拡張反応)、上腕動脈(brachial artery)IMTを計測

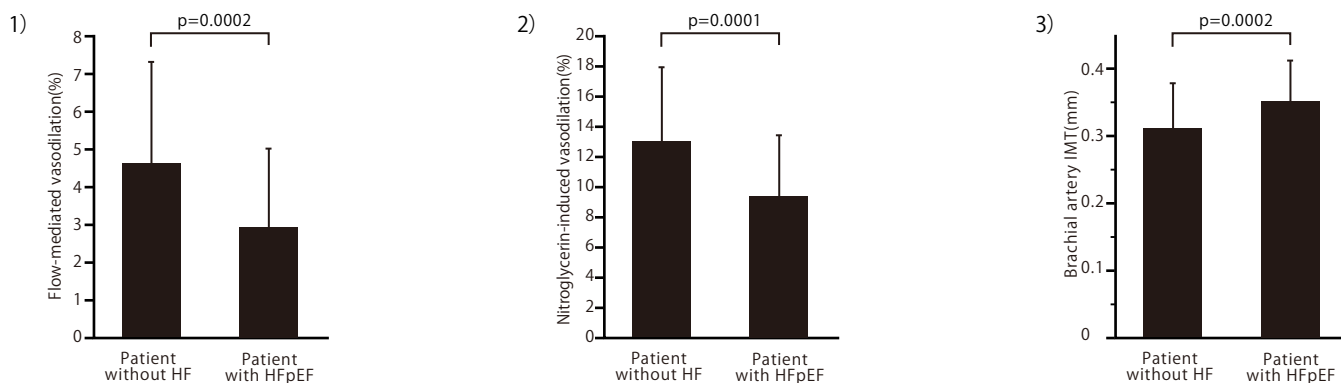
#### <結果>

FMDはHFpEF患者ではHFなしの患者に対し有意に低値( $2.9 \pm 2.1\%$  vs  $4.6 \pm 2.7\%$   $P = 0.0002$ )であった<sup>1)</sup>

NMDはHFpEF患者はHFなしの患者に対し有意に低値( $9.3 \pm 4.1\%$  vs  $12.9 \pm 4.9\%$   $P < 0.0001$ )であった<sup>2)</sup>

上腕動脈IMTはHFpEF患者の方がHFなしの患者よりも有意に大きかった( $0.35 \pm 0.06\text{mm}$  vs  $0.31 \pm 0.07\text{mm}$   $P = 0.0002$ )<sup>3)</sup>

年齢、性別、高血圧、脂質異常症および糖尿病の調整後も、HFpEFとFMD(OR0.79; 95%CI0.66-0.92;  $P = 0.0032$ )、NMD(OR0.88; 95%CI, 0.80-0.96;  $P = 0.0039$ )、上腕動脈IMT(OR1.08; 95%CI1.01-1.17;  $P = 0.033$ )の間の関連性は依然として有意であった



引用文献: Int J Cardiol. 2017 Mar 15;231:181-187.

### ■ 3月の学会展示のご案内

#### 第81回日本循環器学会学術集会

会期: 3月17日(金) ~ 19日(日)

会場: ホテル日航金沢 4階 C-3

追加のトピックス!!

フジテレビ 3月17日(金) よる7時

『その原因、Xにあり!』の撮影に弊社がご協力させていただきました。



株式会社

ユネクス

健康な未来へと繋ぐユネクスイーエフ

0120-939-611 (平日 9:00~18:00)

ユネクス

検索